

2020年2月17日
日本船主協会 海事人材部

東京海洋大学海洋工学部1・2年生を対象に座談会を実施

日本船主協会では2008年7月より人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

この度、2020年2月7日(金)に東京海洋大学越中島キャンパスにおいて、海洋工学部の1・2年生を対象に座談会を開催しました。

この取り組みは、東京海洋大学 海洋工学部 海事システム工学科および、海洋電子機械工学科に在籍する1・2年生を対象に実施しているもので、海技者の仕事をより身近に感じてもらうことを目的としています。

今回の座談会では、NS ユナイテッド海運株式会社より中島太平 二等航海士、進藤啓武 二等機関士、川崎汽船株式会社より置田昂文 二等機関士、株式会社商船三井より木村元紀 三等航海士、石井淳也 二等機関士、日本郵船株式会社より色川諒太郎 三等航海士、杉山直也 三等機関士の7名が、参加した1・2年生約60名と情報交換をしました。

2019年12月～2020年2月に開催された講演会の補足的な位置付けとして実施された今回の座談会は、軽食を取りながら、よりざっくばらんに話す機会となりました。参加した学生からは、「航海士・機関士の具体的な仕事内容」、「船内生活」、「船種別のエピソード」、「英語の必要性」、「就職活動」、「海技試験」についてなど、多岐にわたる質問があがり、上記7名は自身のエピソードを交えながら答えました。双方の情報交換をする活気づいた座談会となりました。

当協会の人材確保タスクフォースでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していくこととしています。



座談会の様子